
言葉足らずの恋

yue

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

言葉足らずの恋

【Nコード】

N49170

【作者名】

yue

【あらすじ】

人って難しい・・・

私は何をまちがえたのかな。

(前書き)

お目汚しを失礼します。

短いですが、何か感じるところがあったなら幸いです。

なんでこんなことになっちゃったんだろう。

言葉って難しい・・・

数時間前まであんなに幸せだと感じていたのに。

人って難しいな。

「それはあんたが、悪いでしょ、同情するわ。あんたの彼に」

友達の祐子は言う。でも私にはわからない。

「どうして、彼はいつか死ぬなら一緒にいって言った。でも私にはそれがわからない。人は死ぬ時は一人だわ、だから思ったことを口にしただけ」

「佐和子は情緒がないの？睦言でいった言葉をそんな風に返されて男が喜ぶ？」

「それは・・・そうかもしれないけど・・・」

「納得いかないって顔ね、まったく変なところ頑固なんだから」

眉を下げてしょうがないなって顔で祐子が息を吐いた。

「それで彼から連絡は？」

「ないよ・・・あの日から」

「それであんたから連絡は？」

「・・・してない」

「ばっかじゃないの？それでおしまい？はいさよなら？25にもなってお手軽な恋愛してんじゃないわよ」

「だって・・・」

「だってなによ？」

「うん」

「うん？」

「うん」

「うんじゃわかんないでしょ？どうしたいの？彼と別れたいの？別れたくないの？」

「わかんない」

「くわくからくわい！！！！？」

そういつて祐子は顔を真っ赤にした。

「よく考えたら私たちつきあってたのかなって」

「あ、頭痛い……」

と祐子は米神に手をあてて少し黙ったかと思うところを見据えて

「あんた好きでもない男と寝るの？」

「！？そんなわけないじゃない！！」

「そうよね、そうじゃなきゃこんな話にバカバカしくていちいちつきあつてらんないわ。じゃあ答えは出てるじゃない？今までそんな風に思っちゃえるような希薄な関係しか築けなかったことを反省しなさい。」

「うん」

「いい佐和子、人間はね、感じ方はみんなそれぞれなのよ、よく会議とかで同感ですっていうでしょ。でもそれは結果的にその人と同じ意見であつてその時には話す時間がないから簡略されてるだけなのよ。その過程は大小あるけどみんな違うの。私生活でそれを省略しちゃいけないの。わかるわね。」

「わかる」

「よかつた。あんたは頑固だけど素直だわ。私はあんたのそういうところが好きよ」

「……うん……うん」

「やだ！？泣かないで、癒し系の佐和子ときつめの私がいてあんたがないいたら私は完全に患者だわ」

「うん」

「やだ、そこ納得するの？失礼な子ね」

そういつて私の涙を拭いてくれる祐子は最高にいい女だ。

「じゃあほら、会つておいで。連絡しない時間が長くなるだけしづ

「らくなるだけよ」

「うん」

「いってらっしゃい」

と私の背を押してくれた。

「もしもし」

久しぶりに彼の声を聞いた。

「もしもし」

沈黙が流れる

「ごめんなさい」

「何が？」

「あのね、人が一人で死んでいくって思うのは変わらないの。でもその時まであなたの隣にいたいし、あなたが死ぬ時私が傍にいたい。」

「・・・俺が先に死ぬの前提なの？（笑）」

「そうすれば、あなたにさみしい想いをさせないもの」

「この一週間さみしかったけど・・・」

「!？それは・・・ごめんなさい」

「まあいいや！最高の殺し文句だな佐和子」

「え？え？」

「だって逆プロポーズだろ!？」

「え????ちがつ!?!?!」

「つぶ、冗談だよ、でもありがとうな。本気で嬉しいわ」

「うん」

「なあ、会いてえな」

「うん」

私は今幸せな気持ちでいっぱいだ。

やっぱりひとつて難しい。

でも今はこの気持ちを大事に大事に育てていきたいと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4917o/>

言葉足らずの恋

2010年10月24日19時56分発行